祝 【旧尾藤家住宅】国の重要文化財指定が決定

与謝野町内初の重文（建築物）指定

令和5年11月24日に文化審議会の答申を受けた「旧尾藤家住宅」の重要文化財指定について、1月19日に官報告示され、正式に国指定重要文化財（建造物）となりました。

旧尾藤家住宅は、与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区（通称：ちりめん街道）の中ほどに位置し、地区内で最大級の敷地を有します。また、尾藤家は江戸時代後期には地域を代表するちりめん問屋として栄え、近代には丹後銀行頭取、加悦鉄道社長、加悦町長を務めるなど、地域社会の発展や近代化に大きく寄与しました。

問 社会教育課 ☎43・9026

11代目尾藤庄蔵のこだわりが詰まった応接間

中庭から洋館をのぞむ

時の贈り物［第130回　仏壇を守る龍の天井画］

このたび国の重要文化財に指定された旧尾藤家住宅を詳細に眺めると、意外なところで今年の干支である「辰（たつ）（龍）」の姿を見ることができます。

ちりめん街道に面した主座敷には床の間と別に仏間が切られており、法事のときにのみ開かれる押し込み襖（ふすま）の向こうに仏壇が収納されています。この仏壇の隙間から中をのぞき込むと、仏間の天井全面に和紙が貼られ、所狭しと龍が描かれているのです。薄墨で描かれた雨雲の隙間からのぞく龍の顔や鋭い三本爪、蛇のような腹、そして先端がひれ状になった尾が描かれています。仏壇の上端と仏間天井の間隔は狭く、鑑賞用というよりは縁起担ぎのために配された雲龍図と考えられます。

西洋の「ドラゴン」が火と密接な関係にあるのに対し、東洋の「龍」は雨や水を司ります。大事な家屋、中でも先祖代々の位牌を収める仏壇を火災から守る狙いがあったのではないでしょうか。

信仰目的の仏画にはよくあることですが、作者名を記した落款などはなく、そのため制作された年代もわかりません。天井板の継ぎ目ごとに亀裂が生じている雲龍図ではありますが、丹後震災や戦火をくぐり抜け、重要文化財となった今日まで旧尾藤家住宅を守り続けています。

（与謝野町教育委員会）

「雲龍図」作者・制作年代不詳　紙本墨画　天井画

※ 今月のALTリレーコラムはお休みします

フレイル予防体操 No.4

ツイスト

運動の注意点

- 無理をせず痛みのない範囲で、少しずつ休みながら行う。
- 運動時は息を止めずに自然な呼吸を心がける。
- 体調の悪いときは決して無理をせずに休む。
- 椅子や机を使用するときは安定したものを使い、パイプ椅子やキャスター付きの椅子など、軽いものや動くものは使用しない。

＜注意＞腰やひざ、背中に痛みのある方は無理のない範囲で行ってください

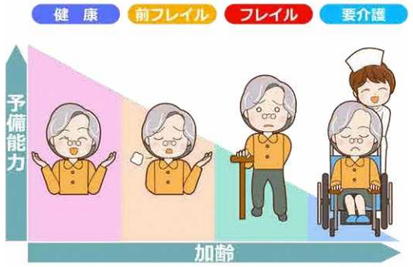
手順（左右10回×3～5回）

① 左の写真のように両脇を開き、ひじを肩の高さまで上げる。
② 左のももを持ち上げ、右ひじと左ひざをくっつけるように体をひねる。
③ 反対側も同様に行う。

POINT!!
なるべく足を高くあげ、体をかがめないようにしましょう

● フレイルとは

人は年を取ると段々と体の力が弱くなり、外出する機会が減り、病気にならなくとも手助けや介護が必要となってきます。このように心と体の働きが弱くなってきた状態を「フレイル」といいます。日本は男女とも平均寿命が延伸して、世界トップクラスの長寿国ですが、これからは「元気に自立して日常生活を送ることができる健康寿命」を伸ばすことが大切です。



フレイルのイメージ（出典 イラストAC）

● 毎日の食事で元気な身体づくり ― 食べる機能を保つ「お口のケア」を ―

食事をおいしくとるには、歯周病を防ぎ、かむ力や飲み込む力を保つなど、お口の機能を維持することが大切です。

【毎食後の歯みがき】
正しいブラッシングを行いましょう。「歯間ブラシ」「デンタルフロス」を利用し、歯と歯のすき間の歯垢も取り除きましょう。

【定期的な歯科受診】
毎日の歯みがきでは取り切れない歯石の除去や入れ歯などのメンテナンスのために、定期的に受診しましょう。「痛くなったら受診する」ではなく、健康な歯やお口を維持するための受診が大切です。

与謝野町有線テレビ
お口の体操番組放送中

●日時　毎週月～土曜日
正午から放送中